

一般社団法人 岡山県トラック協会会長 殿

中国運輸局岡山運輸支局長

車輪脱落事故防止の徹底について(注意喚起)

標記について、岡山県内の運送事業者による車輪脱落事故の発生件数は、令和5年度は1件でしたが、令和6年度は既に3件の車輪脱落報告があり、そのうち2件は別紙のとおり、他の車両を巻き込む物損事故が発生しています。そして、中国管内他県では人身事故も発生しており、車輪脱落は人命にかかわる重大な事故につながる可能性があります。

事故の原因は、タイヤ脱着作業時にホイール・ボルト、ナット、ハブの取付面等の未点検、清掃の未実施、錆が発生しているホイール・ボルト、ナットの未交換、タイヤ脱着作業後の確実な増し締め作業の未実施や、日常点検が適切に実施されていないこと等が推定されており、これから冬用タイヤへの交換作業が増える時期を迎えるにあたり、大変憂慮すべき危機的状況です。

については、車輪脱落事故を防止するため下記について貴会会員に注意喚起の徹底をよろしくお願いいたします。

記

- (1) タイヤ交換作業時は、必ずホイール・ボルト、ナット、ハブの取付面等の点検及び清掃を行い、規定箇所へ潤滑剤の塗付を確実に実施すること。

また、タイヤ交換作業時に確実な点検・清掃や潤滑剤の塗付を行った場合であっても、ひっかかり等の異常がありスムーズに回らないホイール・ボルト、ナットは使用せずに適切に交換したうえで、トルクレンチ等を使用して規定トルクで取り付けをすること。

- (2) 運行前には、特に脱落が多い左後タイヤを中心に、ホイール・ナットを点検ハンマーによる打音検査等を確実に実施するとともに、タイヤ脱着作業後は50～100km走行後を目安にトルクレンチ等を使用して確実な増し締め作業を行うこと。

また、整備管理者等は、増し締め作業をやむを得ず車載工具で行う場合の実施方法を運転者へ指導し、必ず帰庫時にはトルクレンチ等を使用して規定トルクによるトルク管理を行うこと。

以上

【参考】令和6年度に発生した車輪脱落事故

令和6年11月1日現在、事業者から報告があったもの

発生日	脱落までの走行距離	当時の状況	発生の原因
5月29日	約1875km	一般道路を走行中、交差点で停車したところ、左後後タイヤ2本が脱落した。 その後、前方で停車していた自動車の側面へタイヤが接触した。	タイヤ脱着作業後50～100kmに満たない時期に増し締め作業を行った。また、トルクレンチを使用せず規定トルクによる増し締め作業が実施されていなかった。その後、初期なじみによりナットの緩みが発生し、適切な時期での増し締め作業を実施していなかったことにより脱落したと推測される。
10月1日	約230km	一般道路を走行中、左後後タイヤ2本が脱落した。 その後、対向車線を走行していた自動車が脱落したタイヤへ衝突した。	タイヤ脱着作業時にホイール・ボルト、ナット等の清掃を実施しておらず、50～100kmでの増し締め作業を実施していなかった。その後の日常点検を目視のみで行ったほか、増し締め作業を実施していなかった。そのため、初期なじみによるナットの緩みが発生し脱落したと推測される。
10月7日	約120km	自動車専用道路から一般道路へ下り、交差点で停車したところ、左後後内側タイヤ1本が脱落した。 既に左後後外側のタイヤは自動車専用道路を走行時に脱落していたことがその後判明した。	タイヤ脱着作業時にハブ取付面及びホール・ボルトに錆びが発生していたが、適切な清掃を実施していなかった。また、トルク管理を行わず作業を行ったほか、その後の増し締め作業を実施していなかった。そのため、通常時よりも初期なじみによるナットの緩みが急速に発生し、交換後120kmで脱落したと推測される。